



青山学院大学古美術研究会OB会『覧会』  
**講演会 & 展示会**

いしだたみかい



第24回青山学院大学同窓祭  
 AOYAMA GREEN FESTIVAL

2017年9月23日 (土・祝)

日時: 2017年9月23日 (土・祝)

講演会 11時30分~13時

展示会 10時~16時

場所: 17号館17311教室

入場料: 無料 (イーゴ券不要)

大学卒業生による「文化祭」ですが、  
 一般の方々もご来場いただけます。

《会場ご案内》

東京都渋谷区渋谷4-4-25

青山学院大学青山キャンパス内

只渋谷駅 (JR・東急など)

から徒歩10分

只表参道駅 (東京メトロ)

から徒歩5分

入江泰吉写真展

大和路巡礼

故郷の奈良大和路を  
 一貫して撮り続けた  
 昭和写真界の巨匠 入江泰吉  
 彼は豊かな自然と美しい古刹が  
 融和して織りなす風景や  
 尊いみ仏たちを生涯追い続けた



法華寺 十一面観音立像  
 (1964年頃撮影)



宵月薬師寺伽藍  
 (1982年頃撮影)

学生時代、古美術研究会の私たちにとって入江泰吉の写真集は、まさにバイブル的存在  
 でした。このたび**入江泰吉記念奈良市写真美術館**のご協力により、同窓祭において写真展  
 を企画させていただくことができました。

わずか一日ですが、大和路を巡礼しているお気持ちでご鑑賞いただければ甚だ幸いです。

<入江泰吉プロフィール>

1905年奈良市生まれ。1931年大阪に写真店を開き、文楽の写真家として名を馳せるが、  
 1945年戦災に遭いふるさと奈良に戻る。終戦の秋、東大寺法華堂の四天王像がアメリカ  
 に接収されるという噂を耳にして撮影を決意、仏像を撮り始めた。

以来、大和路の風景や仏像、伝統行事、万葉の花を約半世紀にわたって撮り続け、  
 数多くの写真集を刊行し、菊池寛賞(1976年)をはじめ多数の受賞作を残した。

1992年1月16日逝去、享年86歳。その年の4月、全作品(約8万点)を寄贈した奈良市写真  
 美術館(現入江泰吉記念奈良市写真美術館)が奈良市高畑町に開館、また2015年には往時  
 の面影を残す水門町の自宅が「入江泰吉旧居」として開館している。



主催: 青山学院大学古美術研究会OB会「覧会」 <http://ishidatamikaijindo.com/>

協力: 入江泰吉記念奈良市写真美術館

<http://irietaikichi.jp/>